

“シャキッ”と新聞

第146号

2023.02

西中PTA執行部発行

責任者 坪内 陽平

昨年5月に新役員でスタートした執行部ですが、あっという間に年が明け、一年を締めくくる時期となりました。

今年度は、少しずつ学校行事や地域のイベントも再開され、コロナ禍に入る前のPTA活動を知らない役員ばかりだったため、戸惑うこともありましたが、その時々で役員内で話し合い、活動を進めてきました。

今年度の活動も残りわずかとなりましたが、進級や進学に向けて頑張る子どもたちを見守っていきたいと思います。

活動報告



8月6日 稲野小学校地区自治協議会主催 納涼夏祭

入場制限など、感染予防対策を行いながら、3年ぶりに開催されました。当日の朝、突然の雨の中、やぐら、テントの設営。サッカー一部の子もたちが、手伝ってくれました。



コイン落とし



たくさんの方に来ていただき、あっという間に景品がなくなりました。



11月14～18日 トライやるウィーク

トライやるウィーク推進委員として事業所を巡回しました。

普段見れない子どもたちの姿を見ることができました。

終了後の報告会は、子どもたちが経験した活動を堂々と発表し、寸劇で笑いもあり、とても楽しいものでした。

トライやるウィークでの経験は、子どもたちにとって有意義なものだと感じました。



12月10日・17日 門松作り



毎年恒例となっている門松作りを今年度も行いました。まずは、竹を洗い、切る作業です。技術の先生をされていた校長先生が、竹を切ってくださいました。校長先生、歴代のPTA会長さんと貴重な体験をさせていただきました。



二日目、サッカー部、野球部の子どもたちが手伝ってくれました。大変な作業でしたが、立派な門松が出来上がりました。



会長から卒業生へ

卒業に向けて

今年も卒業の時期となりました。私は小学校教員として21年勤務しており、教員として卒業生を見送る立場を何度も経験してきましたし、また保護者として新たなステージへと進んでいく我が子たちの成長を見守る立場も経験してきました。そのどちらでも願ったことは「これからのあなた方の未来に幸多かれ」でした。

新しい生活が始まることは楽しいことばかりではないかもしれませんが、不安もあると思います。ですがそのどちらでも皆さんを支えるのは今まで歩まれてきた皆さんの経験なのです。楽しかった事も悔しかった事も、全て皆さん自身が手に入れてきたものです。その思い出は皆さんの歩みを支えてくれるものになりますし、また新しい支えとなる思い出や経験を手に入れるための力になってくれるでしょう。

転んでもいい。それは貴方が自分の足で人生を歩んでいる証だから。悩んで立ち止まってもいい。それは貴方が真剣に道を選んでいる証だから。そんな風に中学校生活でたくさんの思い出を作っていた貴方を、お家の人や先生方も見守りながら応援してきました。だからきっと今度は、卒業生の皆さんが後輩たちを見守り励まし、目標となる大人として活躍されると信じ、期待しています。



来年度
執行部役員
募集中

執行部＝大変というイメージがなくなるような活動を目指しています。子どもたちが先生方や地域の方々など、たくさんの大人に助けられ見守られながら学校生活を送っていることを知ることができたり、保護者同士も繋がりができて子育ての仲間が増えるなど、いいことがたくさんありますよ♪

